

# 長尾福社会報

平成26年10月1日

第30号



ゆたか荘 敬老会&家族会

—長尾福社会理念— 障害をもっているも もっていないも 男も女も  
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる  
社会づくりをめざします。

## もくじ

### ●ゆたか荘

祝 ご長寿	2
平成26年度「敬老会&第2回家族会」	2
納涼夏祭り	2
介護の仕事に携わり	3
東日本大震災被災法人応援派遣に参加して	3
人生ゆたか老後ゆたか	3

### ●デイサービスセンターゆたか

飽きのこないサービス創り	4
思い出を形に	4
クラブ活動	4

### ●ハーティヴィラ亀鶴

小さな気付き、大きな安心	5
季節の行事を通して	5
爽りの秋もすぐそこに	5

### ●のぞみ園

お花見	6
ソフトボール大会	6
日中活動	6
合同余暇	6
新しいお友達	6
保護者の一言「想定外の旅路」	7
児童デイサービス「笑顔」	7
夕涼み会	7
開園記念	7

平成25年度の法人の経営状況	8
ご支援ありがとうございました	8
土砂災害想定避難訓練	8
のぞみ園改修工事完了	8
編集後記	8

# ゆたか荘

## 祝

### ご長寿



生活相談員 村尾 昌昭



空は深く澄み渡り、秋の訪れを告げようと鈴虫の音色が耳に届くようになりました。  
今夏は、全国各地で台風や豪雨による被害が相次ぎました。一夜にしていつもの日常を奪ってしまう事実に驚異を感じつつも、日々穏やかに健やかに暮らせるありがたさも再認識することとなりました。

現在、ゆたか荘には100歳を超える利用者様が3名おられ、中でも香川県の男性最高齢にあたる105歳の利用者様がおられます。その方の長い人生の中でも、戦争や自然災害など度重なる苦難があったと思われまます。一方で、ご結婚やご出産など、ご家族が増える喜びもあつたでしょう。お子様も巣立ち、ご結婚され、そして孫ができ、その孫も大きくなり、やがて孫も結婚され家庭を築き、新しい命が宿り、玄孫が誕生されています。お子様からお孫様ご家族、ご親戚一同がお集まりになれば、ゆたか荘も手狭になってしまつてはならないでしょうか。

来春には106歳を迎え、さらに子孫が繁栄していく様を見届けんとばかりにお元氣にお過ごし頂けることでしょうか。1日1日をしつかりと生き、今日から明日、明日から明後日と時を経て、人生という長い道のりができていくのだと教えて頂いております。



最後に、我々にとつて遠い日本の昔話を、明治、大正、昭和、平成と4つの元号をまたにかけた生き字引として語り、時に先生として、時に人生の先輩としてご教授いただけたいです。日々のケアを通じて、かけがえのない人生の1ページに携わらせて頂いている職務に誇りを持ち、健やかな日常を紡ぐ、つむぎ手として一日でも長生きして頂けるように努力して参ります。

## 平成26年度「敬老会&第2回家族会」

副施設長 地域施設連携担当 新開 正義

爽やかな秋晴れのなか、多くの御家族の御参会のもと、敬老会及び第2回家族会を開催することが出来ました。

現在、当事業所をご利用頂いている方の平均年齢は、87.1歳、最高齢となる男性御利用者は、県内男性最高齢となる106歳です。

祝宴は、長寿番付表に基づき御紹介させていただくとともに、長寿の節目を迎えられた方に対し、全スタッフより寄せ書きされた色紙をプレゼントさせて頂きました。また、「全日本剣詩舞道連盟水心黎明流三木支部」の方々より、厳かなながらも長寿の祝いにふさわしいお祝いの剣詩舞を披露下さり、敬老会に華を添えて頂くことが出来ました。

御利用者の皆様は、長年培ってこられた経験、知識、そして知恵を豊富に蓄えられており、我々はそれを関わりの中から、お教え頂きつつ、サービス提供はもとより、自分たちの日常の中で育み、膨らませていきながら生活を送っています。この豊かな社会を築いて下さった御利用者の皆様方に、安心・安全で可能性に満ちた日々を送って頂けるよう、一人ひとりに応じたサービスを提供出来るよう一生懸命努力することが、我々に課せられた大きな使命であると、改めて決意をする日ともなりました。今日より明日、明日より明後日と、常に向上を目指して取り組んでいきたいと思っております。敬老の日を迎えられた皆様、おめでとうございます。



## 納涼夏祭り

1階介護職員 富田 香里

ゆたか荘夏の大会イベントである納涼夏祭りを8月24日に開催いたしました。当日悪天候でしたが、時間通り開催でき、イベントアトラクションとして「三木高校吹奏楽部」「さめぎ民俗芸能保存会」「長尾民踊同好会様」と地域の方に協力していただき、笑顔に包まれた納涼夏祭りになりました。

今年入社3年目となり、夏の大会イベントでもある納涼夏祭りの計画に参加させて頂きました。初めての経験で何をしたいのか分からず、戸惑いや不安がありましたが、利用者様・来荘者様に楽しんでいただける夏祭りにはしたいと思い、何度も話し合いを重ねていきました。他の職員の協力のもと、飾り作りや盆踊り（合奏）の練習等を重ねていき、当日は利用者様にもっと違った雰囲気を楽しみたい、「浴衣姿綺麗だね」、「最後一緒に踊り出たよかったです。また来年も踊りたい」、など言ってくれました。また、いつもと違う笑顔や表情がみられ、とても嬉しく感じました。これからも、この経験を活かして頑張りたいと思っております。



# 職員紹介

## 介護の仕事に携わり

1階介護職員 木村 佳央

ゆたか荘介護職員の木村佳央と申します。私は今年の10月で介護の仕事始めて5年になります。入社当時は、先輩職員のテニパキとした姿を見て、こんな風に仕事ができるかと不安でした。利用者様の顔と名前も一致せず毎日、仕事を覚える事で笑顔を忘れる事も多かったと思います。時間も経ち経験と知識を少しずつですが築いていく事ができ、今では利用者様の前で笑顔が自然に出てきていると思います。色々とお悩み事、辛い事もありましたが、利用者様からの「ありがと」などの感謝の言葉で頑張ってきたと思います。もちろん、上司、同僚の職員の励まし言葉も私の仕事に対するモチベーションを上げてくれました。利用者様へは、いっぱいもらった笑顔を100倍返しでお返しできるように、支援していきたいと思っています。家族様へは、来荘時に多くお話をもち、過去のお話をお伺いし、利用者様へフィードバックしていきたいです。これからも、利用者様へは「ゆたか荘で暮らしてよかったわ」と思って頂けるよう、切磋琢磨し、支援にあたっていききたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



## 東日本大震災被災法人応援派遣に参加して

2階介護職員 大池 庸司

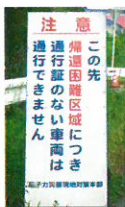
6月の1か月間福島県の特別養護老人ホーム花ぶさ苑に応援派遣で行ってまいりました。

花ぶさ苑は双葉町広野町という福島第一原発より22kmの位置で帰宅許可が出ているぎりぎりの区域にある施設でした。

香川では被災地の現状は全く分かりませんが、福島では連日、新聞・テレビで放射線量や原発関連のニュースが報じられています。復興はなかなか進んでおらず、特に海沿いは津波被害が残されたままです。また、被災した相双地区では未だに11の高齢者施設が再開できていません。所属施設の再会を待ちながら働いている職員も居ました、職員不足の一因に放射線を心配する家族からの反対もあります。地震・津波の被害以上に原発災害に苦しんでいます。

当初、何も出来ない自分が行っても良いのだろうかと思いましたが、現地の人達と接し、光景を見て、何が出来るとの考えました。しかし、そんな私に「来てもらえるだけありがたい」と言っていただけでした。また、話を聞かせてもらった皆さん「この現状を帰って話してください。終わってはいない」という事を忘れないで欲しい。「同じような思いをして欲しくない」と言われました。

被災されても元気に生活されている利用者様・職員を見て、逆に元気を頂いた気がします。これからは福島で聞かせていただいた事・体験した事を利用者様への対応・災害時の対応へと活かしていきたいと思えます。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



### 人生ゆたか 老後ゆたか

日々の楽しみや 生きがい実現のために

**七夕行事**

**納涼夏祭り**

**手作りおやつ**

**行基ハイツ夏祭り**

**鯉のぼりを楽しむ会**

**長尾保育園来荘**

**演歌歌手 香川真弓様 来荘**

**花見**

**外食**

**敬老会**

**菖蒲鑑賞**

# デイサービスセンター ゆたか



そうめん流し



演歌歌手 香川真弓さん訪問



銭太鼓訪問



聖母幼稚園児訪問

## 飽きのこないサービス創り

センター長 矢野 勝久

今年度より、定員五十五名の大規模事業所として再スタートしてから、早半年が経とうとしています。おかげさまで多くの方のご支援、ご協力を頂きながら連日賑わいをみせております。利用者の方によって、利用年数・利用回数は様々ですが、一日のなかで少しずつの変化が見せられるサービス提供を意識しております。季節感が感じられることはもちろん、地域の皆様のお力をお借りしながら、多様なひとときを過ごして頂いております。

「今日、デイの庭に猿がおった。」周りの自然環境からも、ちよつとした変化と会話の種が生まれていることも、大いに活用していけるライサービスであり続けたいと考えています。



文芸



手芸



軽運動



カラオケ

## クラブ活動

毎月、レクリエーションの時間に、四種類から興味ある活動をお選び頂いております。カラオケ、軽運動、手芸、文芸の中で月ごとに内容を変えながら実施しています。この活動を通じて、利用者の方同士との交流にも繋がりをみせています。

生活相談員 松本 梓沙



## 思い出を形に

生活相談員 角田 義郎

今年度は、利用者のお誕生日にその方をお祝いする歌と写真を加工したものに、花言葉を添えてお渡ししています。

皆さん、照れたりしていますが、他の利用者や職員一同がお祝いの歌で盛り上げると笑顔で喜ばれています。

今後も利用者の希望や気持ちを大事にできるデイサービスであり続けたいと思います。

### シヨートステイセンター

#### 小さな気付き、大きな安心

副センター長 看護師 二宮 正代

ハーティヴィラ亀鶴は平成24年11月開所より早2年を迎えようとしています。

現在、シヨートステイでは、1日最大20名の方にご利用いただいています。嘱託医の松岡先生には、月2回往診に来て頂きアドバイスを受けながら、かかりつけ医の医師とも連絡を取り合い、利用者様の健康管理に努めています。

現在、ご利用中の利用者様は以前より受診されていた、かかりつけ医の先生にフォローして頂いています。昔からなじみのある先生に診て頂く事によって育ってきた環境を大切に利用者様の人生に寄り添った介護が出来ると信じています。

施設での看護師の主な仕事は利用者様の小さな異変にもいち早く察してあげる事が出来る事だと思います。小さな異変に気付くためには看護師だけで行えることではなく家族様・介護職などの連携が必要です。開所以来利用者様の大きな急変もなく無事に過ごせてきたのは利用者様を取り巻く人たちの利用者様に対する思いだと思います。

「いつもと違う・何かわからないけどおかしい。」と伝えてくれる環境を大切にしながら、これからも奮闘していきたいと思っています。



### デイサービスセンター

#### 季節の行事を通して

看護職員 増田 真樹

季節感を心と身体で感じて頂き、日々ゆったりとした時間の中でも四季を感じられるさまざまな行事を行っております。七月七日には七夕を開催致しました。

利用者様一人ひとり、短冊に願い事を書いたり七夕飾りの吹き流しを作ったり、日々の制作に取り組み、完成を楽しみにされています。

当日はホール内では「七夕さま」の曲を流しながら、利用者様と一緒に短冊や飾りを笹の葉に綺麗に飾り付けすることが出来ました。

「七夕さま」の歌詞カードを配り、皆様と一緒に歌い、自然と手拍子が飛び出し、歌い終えるとアンコールの声がきかれる程ゆったりとした雰囲気の中で七夕を過ごすことができました。その時の利用者様の穏やかな優しい表情が印象的でした。

日々の生活の中で達成感や充実感、生きがいを持つことにより心は豊かになると思います。日々の声掛け、気配り、思いやりを大切に、利用者様に安心・安全・安らぎのある生活が過ごしていけるよう、これからも行事を計画していきたいと思っています。また、楽しんで頂けるような居心地の良い場所が提供できればと思っています。



### サービス付き高齢者向け住宅

#### 爽りの秋もすぐそこに

ケアスタッフ 谷口 陽子

サービス付高齢者住宅では、現在12名の入居者様がお元気に過ごされています。建物内は空調が効いており、「今年はおかげであせもやしもやけにならなかつた」等、お声をいただくこともあります。季節感を感じなくなってしまうたかなと少し懸念しましたが「稲の穂が出てきたの」と、居室やホールの窓から見える稲の成長を楽しみにされている入居者様もおられ、窓から見える様々な景色を通して四季の移ろいを感じていらっしゃるのだなと安心しました。素敵な景色が広がっています。いつでも見学にお越しくたわい。

# のぞみ園

四月十日(休)

生活支援員 田中 歩

## お花見

四月十日(休)のぞみ園でお花見をしました。天候に恵まれ花見日和のなか、満開の桜の下で会食することができました。

花吹雪のなかでお弁当が食べられ、利用者方のもも穏やかな笑顔が至る所で見受けられました。「美味しかった」「桜がきれいだった」などの言葉もたくさん聞かれ、皆さん大変楽しまれたお花見になったと思います。



## ソフトボール大会

生活支援員 宮下 義之

五月二十三日、高松市西部運動センターで行われた「施設交流ソフトボール・ソフトバレーボール大会」に出場しました。ソフトボールは毎年出場しており、近年は良い成績を残しています。今年も打撃が好調で、見事準優勝に輝きました。ソフトバレーではチームワークで健闘しましたが、惜しくも三チーム中三位となりました。それぞれの試合を通じ、のぞみ園のチームワークの良さやスポーツを楽しむ姿が窺えました。笑顔が溢れ、楽しい大会となりました。

暑かったけどがんばりました。次は優勝したいです。

利用者 田辺 光春



## 目申活動

生活支援員 岩田 俊輔

通所では月一回調理実習をしています。今年度はサンドイッチや、おやきなどを作りました。野菜を切ったり、卵を炒めたり、みなさんそれぞれ楽しく調理をしています。できあがった後は、みなさんおいしそうに食べています。また、その他にも園芸で育てているキュウリやナスを収穫した後は、浅漬け作りをしています。



ちょうりを楽しんでいます。ほうちょうをつかって、しょうずにやさいをきることができます。利用者 小峠美代子



## 合同余暇

生活支援員 松川 恵子

七月二十九日、皆さんがとつても楽しみにされていた夏祭りが開催されました。恵生ノ園やゆめりんごの方も参加してください、全員で九十八名のにぎやかな祭りとなりました。もぐらたたきや魚つり、的当てのゲームを皆さん楽しまれ、会場は終始盛り上がりがありました。また、当日は天気良かったですので、冷たいチョコレートパフェに皆さん大満足でした。最後には全員で炭坑節を踊り、とても充実した夏祭りになりました。



## ～ 新しいお友達 ～

大林 瑛典さん

大林あきのりです。みやこはるみがすきです。よろしくをお願いします。

小野 貴子さん

八月より女子寮に入りました。のぞみ園の皆さん、よろしくをお願いします。

国方 稔さん

はじめまして!!国方稔です。テレビを見るのが好きです。これからよろしくをお願いします。



# 保護者の一言

## 想定外の旅路

林 迪子

のぞみ園の皆様お元気でござい  
ましようか。平成十年四月に、病後  
の洋子はこのぞみ園に入園しました。

あんなに早くお別れするとは思  
いもしなかった村尾トヨ子園長に、  
受け入れていただきあれから十六  
年の年月が流れました。温かく可愛  
がってくださいました。毎日洋子  
にとって幸せでございました。ダウ  
ン症では珍しいといわれる程の還  
暦の頃、認知症を発症し思いがけず  
早くにゆたか荘への短期入所とな  
りました。

五月十五日のお別れの時には楽  
しかったときのビデオを見せて頂  
き、たくさんの皆様との「さよなら」  
でしたが、悲しくて十分な別れも  
申し上げる事も出来なく、涙をこら  
えるのが精一杯でした。

一泊旅行や、日帰り遠足、テーブ  
ルマナー等を懐かしく思い出して  
おります。本当にありがとござい  
ました。

ゆたか荘の温かい空気の中で、洋  
子も毎日を頑張つて過ごしていま  
す。私も母として共に頑張つて認知  
症への新しい出発を始めました。

皆様のおすこやかな毎日をお祈  
りしております。



## 児童デイサービス

### 「笑顔」

ボランティア 朝倉 千晶

地域の皆様に「障害」のことを「のぞみ園」のことを理  
解していただけるよう、ボランティアの受け入れを行  
つていきます。興味のある方は、ぜひ見学において下さ  
い。お電話でのお問い合わせも承っております。

私は大学で幼児教育を学んでいます。児童デイサービ  
スでの生活を学びたいと思い、二日間という短い時間  
でしたが、ボランティアを希望しました。急なお願ひにも  
関わらず快く引き受けてくださりありがとうございました。  
ボランティアに参加させていただいて、心に残つ  
たのは子どもたちの笑顔です。自分の課題ができた  
とき、好きな英語の歌を歌ったときなどにみせる笑顔が本  
当に素敵だなと感じました。はじめは不安もありました  
が、子どもたちからたくさん話しかけてもらったり、笑  
顔をみたりして、緊張もほぐれていきました。また、職員  
の方々にも、どのような支援も行われているのかや、活  
動のねらい、気を付けていることなどをお忙しい中  
教えていただきました。学  
んだことを今後の学業に  
生かしていきたいと思  
います。貴重な体験をさせて  
いただき本当にありがと  
うございました。



## 夕涼み会

生活支援員 間島 義博

七月十八日、行基ハイツで行われた夕涼み会に行きま  
した。会場では、焼きそばやうどん、かき氷などがあり、  
皆さんおいしそうに食べていました。ステージイベント  
を見て、音楽が流れたら一緒に手拍子をしたり、リズム  
をとって楽しそうでした。花火鑑賞では、園の駐車場に  
長椅子を置いて見ました。椅子に座り、高く上がる花火  
に歓声を上げて見ている姿を見て、もう夏なんだと季節の  
移り変わりを感じることができました。

花火や阿波踊りを見ながら  
ご飯を食べることができて  
楽しかった。  
利用者 川北 和則



## 開園記念

調理員 中西 敬子

九月一日、開園記念献立として、昼食にドリア・サラ  
ダ・果物・おやつにフルーツパンチで、お祝いしました。  
新メニューのドリアに皆  
さん驚かれながらも、美味し  
いと好評でした。

かいえんきねんび、  
みんなで  
ひるごはんたべました。  
サラダとドリアと  
フルーツ  
おいしかったです。  
利用者 小川 美保



